

余田地区の概況



【地勢】

○余田地区は柳井市の西南隅に位置し、東経132度04分、北緯33度58分、東は新庄地区及び柳井地区に、南は熊毛郡平生町に、西は熊毛郡田布施町及び光市に、北は伊勢地区に接している。

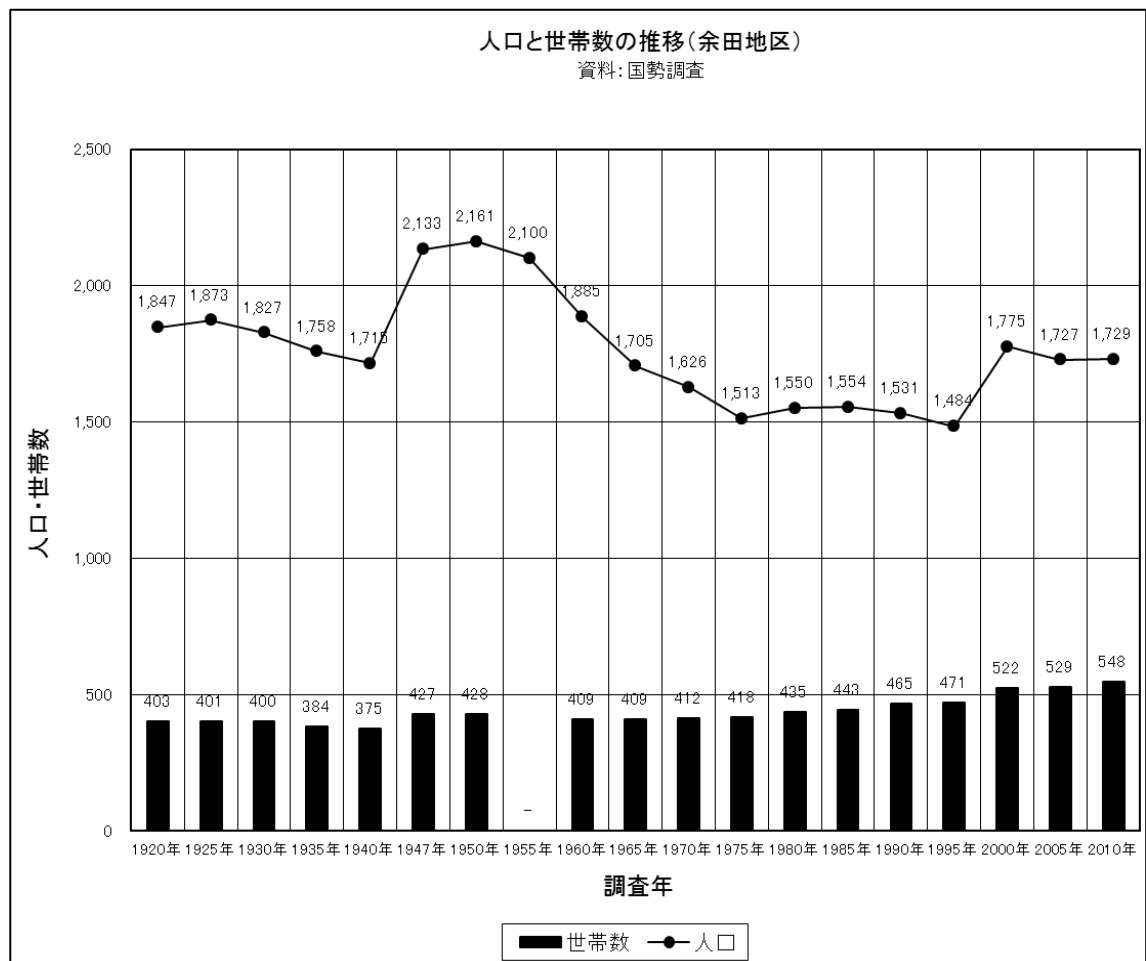
○地形は南北に細長く、東西は広いところで2kmほどだが、南北は約7km、山岳河川は北から大平山（山頂は新庄、314m）等があり、その南側平地を鉄道線路が東西に走り、沿線一帯に耕地が広がる。この平地を土穂石川支流（通称堀川）が南西から北東へ流れる。南方に向かうと赤子山（230m）がそびえ、平生町との境をなすほか、灸川が北から南へ、鉄道線路付近以南はほぼ田布施町との境界に添って流れている。地区の面積は856.7haで、その内農地304.5ha、山林392.9ha、住宅地72.5ha。（「平成19年度柳井市都市計画基礎調査」）

【気候】

○余田地区を含む柳井地域は瀬戸内海型気候区に属し、年間平均気温は15～17℃で日照時間が長く、年2,268.3時間（平成25年）は県下の地域気象観測所中1位であり、全国的にも高順位である。

【人口】

○国勢調査による人口及び世帯数の推移は次頁の表のとおり。



【人口と世帯数の推移】